

## 基盤整備事業（ほ場整備事業）における 安全施工管理について

長崎県土木施工管理技士会  
株式会社 吉川組  
現場代理人

小 鉢 力 也

### 1. はじめに

本工事は、深江町の基盤整理推進事業により農業事業者の所有する点在する水田、畑の生産性を向上させるため、区画整理・道路・用水・排水の整備を行う工事として平成18年度工事として発注されました。今回当工事を施工するに当たり現場における安全施工管理について紹介します。

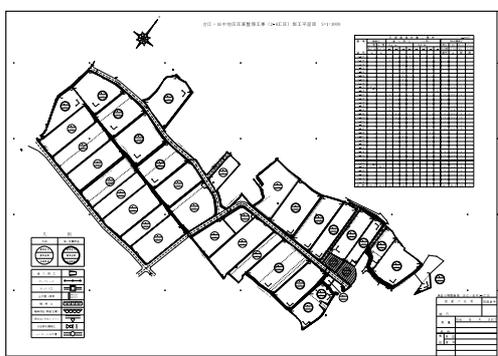


図-1 完成図

### 2. 工事概要

工事名：古江・田中地区区画整理工事（2-4区）

発注者：長崎県島原振興局農林部

工事場所：長崎県南島原市深江町

工期：平成18年7月4日～

平成19年3月11日

工事内容：整地工 4.12ha 道路工 777m

用水路工 751m 排水路工 754m

### 3. 現場における課題・問題点

- ① 当初課題として当工事がほ場整備工事ということで、農業地権者の収入源となる農作物の耕作事業を休作させての作業となるため、早期に工事を完成をしなければならない。
- ② 周囲のほ場整備事業が完了しているために外周の道路は耕作者及び地区関係者を通行させなければならない。
- ③ ほ場整備地区に接して民家が5件あり今回工事で施工する道路を通行できるようにしないと民家への進入路がない。
- ④ 整備前道路が、一般車両通行路及び児童通学路として使用されており道路使用者が多い。
- ⑤ 工期の関係で、施工班を多数投入して短期間で施工を終わらせなければならないため混在作業となる。また施工範囲が6haあり全体を管理するのが難しい。



写真-1 施工前工区内道路状況

## 4. 対応策・工夫・改良点

民地への進入路は、民地地権者と密な打ち合わせを行いながら進入路の作成、付け替えを工事の進捗に合わせて行い早期に安全に民地に入れるように民地進入に関する道路の施工を工事初頭にするようにした。

外部からの訪問者などが工事現場に入ってこないように現場進入路全部に通行止の範囲及び民地への迂回路の掲示を行った（写真-2）。



写真-2 通行止看板・通行止範囲及び民地進入迂回路掲示

周囲の地元住民及び耕作関係者には、ほ場整備工事に協力してもらうために自治会長に話を行い回覧板及び集まりで工事を行っていることの周知と、重機・車両との接触事故を防ぐため迂回をお願いするようにした。

また耕作者が安全に工事範囲周辺の道路を通行するように工事範囲周辺での注意を促す看板を50m置きに立てるようにし、また現場従事者にも注意を促す看板を現場進入路周辺に立てるようにした。

小学校が近くにあり児童が通学で工事範囲内の道路を通学・帰宅で使用していたため児童との接触事故を防ぐために以下の対策を取った。

- ① 学校と打ち合わせを行い、学校の方から工事の周知及び通学時の迂回順路の指示を行ってもらうようにした。
- ② 現場内に入ってくる大型車の通行時間を児童の通学時間を避けるために AM 8 : 30以降からにした。
- ③ 現場進入路は児童低学年でもわかるように、わ

かりやすい言葉で漢字にはふりがなを付けて回り道に協力してもらうように看板を付けるようにした（写真-3）。



写真-3 児童低学年対応迂回看板(ふりがな付き)

耕作者の農作業を止めないようにする事と、現場周辺住民への工事の周知を行うため現場周辺に掲示板を設置し、月間及び週間の作業の有無・作業工種・作業人数・作業時間を掲示し現場との調整及び周知ができるようにした（写真-4）。



写真-4 月間・週間の予定表及びお願い掲示板

現場内に多数班を投入しての工事となること及び、工事施工範囲が広いことで全体を管理することが難しく工事従事者が安全作業で工事を行うように以下の対策をとった。

- ① 社内と古江・田中地区協議会で安全パトロールを別に行うようにし工事従事者の、安全意識の向上をさせるため外部から指摘をしてもらうようにした（写真-5、6）。
- ② 工事従事者が常に安全に対して注意を行うように目に付く箇所に付け替えてできる簡易の安全掲示板を設置し、注意を促すようにした（写真-7）。
- ③ 整理整頓、清掃の意識を向上させるために現場及び現場周辺の清掃活動を行わせ自主的な安全活

動の向上を促すようにした（写真-9）。



写真-5 協議会安全パトロール



写真-6 社内安全パトロール



写真-7 現場内簡易掲示板



写真-8 安全教育



写真-9 現場周辺の清掃活動

## 5. おわりに

この工事で、ほ場整備工事は5回目となり安全施工管理対策も最初にした時と比べて効率的で、安全性の向上がなされてきたと思います。どうしても地域住民及び農地耕作者の協力が必要となるため、周囲への工事の周知や打ち合わせを上手くやっていたらいいが、上手くいかず、苦情やクレームが多かったのが回を重ねるにつけ大分減ってきました。

作業上も、最初は巡回での指導を口頭で行い安全施工をさせようとしていたが、全体を管理できずうまく伝わらないこともありました。掲示板や安全活動で個々の安全意識の向上をさせるように努め、巡回時も危険な作業をあまり見ることがなくなりました。

まだほ場整備における安全施工管理については、完全にここまでできていれば良いという域までできていなく、コスト・効率化を踏まえての改善ができると思うので、アイデアを持って安全施工管理をやっていこうと思います。